

## 追記 令和6年能登半島地震に寄せて

### (1) 地震発生とその被害状況

令和6年1月1日の午後4時10分に、石川県能登地方を震源とする、マグニチュード7.6最大震度7の地震が発生しました。正月元日の年始めに襲った大地震によって、家屋の倒壊や土砂崩れ、押し寄せた津波によって、多くの被災者が出ています。石川県能登地方やその周辺地域では、大地震発生から1週間が経過しても活発な地震活動が続いており、気象庁では発生後1カ月ほどは、最大震度5強程度の揺れに警戒するなど、予断を許さない状況です。

被災した地域では、交通網や通信網の寸断により地震発生から10日以上時間が経過しても正確な被害状況を把握しきれいていません。10日午後2時現在、石川県だけで死者206人、安否不明が52人と報道されています。倒壊した家屋が多く救助作業が難航していること、道路の寸断によって孤立している集落があることなど、実態把握が難しいことによるものです。自衛隊をはじめ、全国から災害支援部隊が派遣され、救助活動と道路の修復、電気や上下水道のライフライン復旧作業が続けられていますが、被害が石川県・富山県・新潟県・福井県と広範囲におよんでおり、余震による二次災害を避けながらの作業を強いられるため、計画的な支援活動が難しく、復旧の見通しが立たない状況です。

### (2) 山形市上下水道部の災害派遣

1月5日午後1時30分頃に、日本水道協会から山形県支部に給水車2台の応援要請がありました。山形市ではこのうち1台の給水車の派遣要請を受け、上下水道部は職員4名・給水車1台・連絡車1台を第1班として

派遣することを決定しました。

1月6日午前8時に上下水道施設管理センターにおいて出発式を行い、市長より激励の言葉を受け、第1班4名は集合場所である石川県金沢市へ出発しました。

現在のところ要請期間は1月31日までとなっているため、上下水道部は4班編成を組み合わせながら他事業者や関係機関と連携し応急給水活動を行うことにしています。

上下水道部の活動は、珠洲市総合病院の受水槽や200名以上が避難している七尾市立中島小学校などへの応急給水を、現地での補水を繰り返しながら継続しています。積雪もあり道路状況が良くないため、給水車の移動に時間がかかるものの、順調に支援を続けています。被災された方々が一日も早く安全で安心な日常を取り戻すことを願い、被災地での災害支援活動は今日も続いています。

(令和6年1月10日 広報広聴係 記)



被災地での応急給水活動の様子

# 資料編

## 水道100年のあゆみ

年号	山形市水道関連
明治22年 (1889年)	4月1日 山形市制施行 7月1日 旧南村山郡役場に「山形市役所」開庁
明治23年 (1890年)	9月7～8日 豪雨、馬見ヶ崎川上流葉ノ木沢崩壊、堤防欠壊、市内氾濫、浸水1259戸、流失17戸 地下水減少、市南に井戸涸れ、市会に「南部通水委員」設置
明治24年 (1891年)	7月 山形市会に「南部通水委員」設置、県技手三浦吉勝に水道設計依頼
明治27年 (1894年)	5月26日 市南大火、1257戸全焼、15名焼死 市会に「水利調査委員」設置 地藏町旧宝幢寺（現もみじ公園）池より市南導水案
明治28年 (1895年)	11月 飯塚村で水道布設議決
明治29年 (1896年)	3月 樺沢村水道計画、水源地賃借契約、10月村会議決
明治30年 (1897年)	12月 飯塚・樺沢水道認可
明治31年 (1898年)	2月 飯塚・樺沢水道着工
明治32年 (1899年)	3月 樺沢水道竣工通水 10月 樺沢水道記念碑建設 11月 飯塚水道竣工通水
明治33年 (1900年)	8月 山形水道水源調査 8月 飯塚水道記念碑
明治34年 (1901年)	8月 雄倉市長等馬見ヶ崎川周辺の水源調査 千歳山麓に堀井戸試掘（翌年中止）
明治35年 (1902年)	5月 市会に「上水道布設」を提案、市会に「水道事業臨時調査委員」を置く 千歳山麓に32連隊射撃場設置により周辺の田畑を埋立てたため市内井戸水涸れる 9月28日 大暴風雨、市内家屋倒壊113戸、死者2名
明治37年 (1904年)	
明治38年 (1905年)	6月 菱田市長等馬見ヶ崎川上流の水源調査
明治39年 (1906年)	
明治40年 (1907年)	8月 「南方給水事業会議」結成、市に水道布設陳情 8月27日 豪雨、馬見ヶ崎川増水 小白川字川原の官有地を水道貯水池とするため払下げ申請、許可 11月 市会に「臨時給水調査委員会」設置
明治41年 (1908年)	

山形市の出来事	国・県・社会一般
7月1日 南山形宮役所に山形市役所開庁 初代市長 濱村勘太郎氏就任 7月 第一、第二、第三尋常高等小学校創立	大日本帝国憲法発布
2月 「水道条例」公布（法第9号）	府県制施行 第1回総選挙施行、第1回帝国議会
	東北線鉄道、仙台開通
12月 雄倉茂次郎氏市長就任	8月1日 日清戦争始まる 10月22日 酒田大地震、死者723人
2月 蔵王山噴火 8月 山形市内に腸チフス・コレラ発生	4月 日清戦争講和条約 遼東半島返還 大阪市水道竣工
	旧山形城跡に歩兵32連隊設置 山形電気株式会社設立
	山形商工会議所創立 金本位制実施 8月 歩兵32連隊入営
	東京市水道竣工
4月 山形市鍛冶町大火438戸焼失 5月 山形市に電灯ともる 12月24日 暴風雨、家屋倒壊5戸	奥羽本線：福島－米沢間開業
4月10日 奥羽線鉄道山形まで開通、奥羽6県共進会開催 11月 雄倉市長辞任 12月 佐治吉左エ門氏市長就任	
済生館病院が個人経営から市営となる 佐治市長辞任、助役菱田義民氏市長に選任される	4月 日露戦争始まる 山形連隊出征 9月 歩兵32連隊出兵
山形連隊凱旋、宮庭に桜樹を植える	2月 山形連隊満州黒溝台で激戦、1,000名の戦死者を出す 2月 日露戦争の講和会議 山形に煙草専売局設置
12月 菱田市長辞任、新関善八氏市長となる	
11月 山形市に電話開通	
山形地方専売局設置	

年号	山形市水道関連
明治42年 (1909年)	4月6日～7日 豪雨、馬見ヶ崎川堤防決壊、交通途絶
明治43年 (1910年)	山形市囑託水野好太郎及びその長男、廣治が工学博士中島鋭治を招致、馬見ヶ崎川表流水による水道布設について市に意見提出。 市は水源調査費1,000円計上、さく井水道を計画 8月11日 台風、馬見ヶ崎川、高瀬川氾濫 9月 市会に「馬見ヶ崎堤防調査臨時委員会」設置
明治44年 (1911年)	5月4日 水野廣治、水道布設につき市長に意見書提出 5月8日 山形市北大火、県庁・市役所・学校等全焼、民家1,353戸全焼 5月24日 市南大火、114戸全焼
明治45年 (1912年)	7月30日 明治天皇崩御
大正元年 (1912年)	7月30日 大正天皇即位につく 同日「大正」と改元する
大正2年 (1913年)	8月12日 水野廣治を山形市給水調査囑託に任用、馬見ヶ崎川表流水貯水につき調査 市会に「給水調査臨時委員会」「馬見ヶ崎川治水臨時委員会」設置 8月26日 奥羽山脈集中豪雨馬見ヶ崎川堤防欠壊、市内氾濫、県庁前水深8尺に達す 9月 水野廣治「山形市給水事業大要」を著わし世論喚起に努める
大正3年 (1914年)	1月 市会で水道水源調査費5,000円議決 6月 馬見ヶ崎川笹堰取水口付近試掘に着手 8月 山形市直営工事として馬見ヶ崎川小白川天神裏より薬師裏まで二重堤防工事、埋め立て事業着工 8月25日 水野廣治「山形市地下水道編」を自費出版、啓発運動に奔走 12月 12月10日より3日間、馬見ヶ崎川農用灌漑水利組合と合同、上流に貯水池設置につき調査
大正4年 (1915年)	2月 市予算4年度に初めて水道費3,000円計上、市会に「水道調査委員会」設置 7月 大正天皇御大典記念事業として山形市水道布設事業並びに馬見ヶ崎川上流植林事業を取り上げる 9月 東村山郡千歳村会で長町水道議決 10月 10月25日より5日間、県、営林署水利関係者協同、馬見ヶ崎川上流の植林地、水源地調査 11月 笹堰口水道水源さく井を延長する第二期工事着工 11月10日 大正天皇即位の礼
大正5年 (1916年)	2月 市直営馬見ヶ崎川堤防竣工、5月2日落成式挙行（工費7万1千800円）、埋立町造成 3月 市会で馬見ヶ崎川堤防維持につき県に助成申請 11月20日 市会に「山形市水道布設に関する件」を提案、6年度より2カ年継続事業として水道工事費 予算56万3,600円可決のうえ認可申請（総額61万8,000円）
大正6年 (1917年)	4月 水道工事着手に備え、市に「臨時水道工事部」設置、市会に「水道工事臨時委員会」設置 6月1日 馬見ヶ崎川山形県準用河川に指定 物価騰貴、財政緊縮のため山形市水道起債不認可、11月予算更生して61万2,460円に圧縮 事業年度を7、8年に繰下げ再認可申請
大正7年 (1918年)	馬見ヶ崎川上流葉の木沢改修砂防工事、国営（営林署）で実施 3月 千歳村長町水道認可さる 4月 山形市水道認可さる 9月 「山形市水道部」設置 10月10日 小白川に浄水場工事地鎮祭 12月 物価騰貴により工事継続困難になり事業年度を2カ年延長、4カ年として事業費114万7,754円に増額
大正8年 (1919年)	3月 起債認可、金融梗塞のため起債不能に陥る 山形市内導水管布設、水源横坑掘削進行、小白川浄水事務所建設
大正9年 (1920年)	5月7日 豪雨、葉の木沢、ナへ沢崩壊、山形市内井戸水源涸渇、市は自動車で給水 ハケ郷堰より簡易取水施設 9月 「山形市水道公債」70万9,661円を公募したが応募なく、市中金融機関引受けとなる 12月 導水管布設工事一部完成、試験給水開始

山形市の出来事	国・県・社会一般
	山形県立図書館開設
水道条例改正	
11月 山形市に都市ガス供給	
11月 山形市庁舎（二代目）竣工 12月 新関市長満期退職	
1月 林兎喜太郎氏市長就任	
	第一次世界大戦始まる 陸羽西線開通
山形市魚市場開設	11月10日 大正天皇即位大典（即位の礼）
県庁再建落成（現文翔館） 県会議事堂落成	奥羽六県連合共進会開催される
3月 林市長満期退職 小鷹鋭健氏市長就任	米沢市大火2,139戸全焼
7月 市立山形商業高等学校開校	第一次世界大戦終戦 ロシア革命、ソビエト連邦成立 富山を発端に米騒動起こる
	米沢市大火1,385戸全焼
山形高等学校開校 11月 第1回国勢調査、市人口116,757人	

年号	山形市水道関連
大正10年 (1921年)	市内59カ所に水道臨時共用栓設置 無料給水を実施（後100余カ所に増設） 労力不足のため事業年度を大正11年度まで繰越し
大正11年 (1922年)	8月 市内一部給水開始 10月30日 千歳長町水道竣工
大正12年 (1923年)	5月4日 水道工事完成、通水式挙行「山形市水道略誌」「山形市水道案内」刊行
大正13年 (1924年)	馬見ヶ崎川表流水を水道に使用すべく農業水利関係者と協議
大正14年 (1925年)	馬見ヶ崎川表流水使用決定
大正15年 (1926年)	3月 緩速ろ過池設置（現松原配水場内） 12月25日 大正天皇崩御
昭和元年 (1926年)	12月25日 「昭和」改元
昭和2年 (1927年)	
昭和3年 (1928年)	水道費起債（51万9,000円）未償還額利子8分を6分低利債借替え
昭和4年 (1929年)	緊縮財政により水道費1割5分削減
昭和5年 (1930年)	3月 東原地区区画整理事業竣工、水道布設
昭和6年 (1931年)	4月1日 南村山郡東沢村小白川、山形市に合併
昭和7年 (1932年)	
昭和8年 (1933年)	塩素滅菌機設置 5月4日 水道通水10周年
昭和9年 (1934年)	5月7日 豪雨、馬見ヶ崎川上流崩壊、水道水量減少、路面散水・公園噴水中止 9月 山形高等学校教授安斎徹に依頼し新水源調査
昭和10年 (1935年)	8月 市西北部にさく井水源調査、地元反対により中止 「山形市上下水道統計表」出版
昭和11年 (1936年)	5月23～24日 奥羽山脈系に集中豪雨、葉の木沢山崩れ、水道水源の湧水減少
昭和12年 (1937年)	
昭和13年 (1938年)	小白川羽黒地区に集水渠建設が完成 8月30日 蔵王山系集中豪雨、笹堰崩壊、水道水源施設被害、一部断水、自動車配水実施 水源復旧に「水源保護費」計上
昭和14年 (1939年)	8月5日 豪雨、水源崩壊、水道汚濁により断水 10月26日 豪雨、給水停止 戦時予算により水道費削減

山形市の出来事	国・県・社会一般
	4月 左沢線全線開通
7月 小鷹市長辞任、川合爲吉氏市長就任	9月1日 関東大震災 県師範学校寄宿舎全焼7名死亡
7月17日 漆山大火、110戸全焼	鶴岡市市制施行 7月31日 羽越線全線開通
10月 摂政宮山形行幸 郡制廃止	
	12月25日 大正天皇崩御「昭和」と改元
7月 川合市長満期退任、高橋勝兵衛氏市長就任 9月 山形市主催「全国産業博覧会」開催（会場第一小学校）	2月 山形交通(株)創立、市内バス運転
10月 山形市都市計画法適用	
	9月 満州事変起こる
10月30日 高橋市長病死 11月 大沼保吉氏市長選任される	5月 「社団法人日本水道協会」設立 5月15日 五・一五事件起こる
4月23日 小白川21棟全焼	7月 山形市で気温40.8度を記録
	酒田市市制施行 東北地方冷害凶作
山形・上山間「産業道路」落成	
2月 ドイツのアーノルド博士が蔵王の樹氷を世界に紹介 する	2月26日 二・二六事件起こる
	7月 日華事変（日中戦争）起こる 10月 NHK山形放送局開局 11月10日 仙山線開通
	厚生省新設、水道は衛生局主管
	9月 第二次ヨーロッパ(世界) 大戦始まる



年 号	山形市水道関連
昭和15年 (1940年)	
昭和16年 (1941年)	山形市衛生組合、臨時水道調査委員会等廃止、散水、消毒事業済生館に移管
昭和17年 (1942年)	
昭和18年 (1943年)	9月 水道水源地帯の鉱山開発につき「公害地域」設定
昭和19年 (1944年)	疎開者受け入れのため水道不足、小白川町に浅井戸掘削「第二水源」とする 10月8日 伊勢湾台風、水道施設被害
昭和20年 (1945年)	空襲による水道被害に備え、市内井戸修理補助実施 9月20日 米軍山形進駐、第六小学校、男子国民学校接收される
昭和21年 (1946年)	水道料金物価統制令適用を受ける
昭和22年 (1947年)	7月 「水道課」独立、市会委員会第5部に「水道・土木」所管 10月 インフレにより水道料金4倍となる
昭和23年 (1948年)	インフレにより水道予算は戦前の100倍となる 8月 水道料金は物価統制令に指定される 9月 県で葉の木沢砂防ダム建設着手
昭和24年 (1949年)	4月 市南日飛工場跡の井戸補修し「第三水源」とした 8月 市北薬師裏にさく井「第四水源」とした 11月 南村山郡金井村松原「簡易水道」竣工、12月3日通水式挙行 11月 南村山郡金井村津金沢簡易水道竣工
昭和25年 (1950年)	5月 鈴川地区給水施設着工、8月竣工
昭和26年 (1951年)	6月 不動沢貯水池建設認可の申請 9月 「市政研究自由討論会」開催「水問題」討議
昭和27年 (1952年)	山形市水道事業、済生館病院「公営企業」に移行決定（28年1月1日実施） 「水道課」を「水道部」に改む 簡易水道に国庫補助制度創設 9月 山形市の日米講和記念事業として不動沢で造林事業を開始 12月 「山形市水道企業基本計画」樹立、料金統制廃止
昭和28年 (1953年)	2月 上水道第一次拡張事業着手（工期：～昭和34年3月） 3月 山形市水道使用条例（市条例第18号） 5月4日 水道布設30周年記念式典挙行
昭和29年 (1954年)	4月 東村山郡出羽村簡易水道着工、合併により山形市に引継ぎ 3月 飯塚村山形市に合併 6月 樺沢村山形市に合併 10月 東村山郡金井村、大郷村、出羽村、楯山村、高瀬村、明治村、南村山郡滝山村、南沼原村、東沢村 山形市に合併 11月 南村山郡金井村山形市に合併

山形市の出来事	国・県・社会一般
	10月 大政翼賛会発会
	12月8日 真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる
8月 市営総合グラウンド設置 初代「山形市歌」つくられる	
4月1日 東村山郡鈴川・千歳2カ村山形市に編入合併	
11月 大沼市長退任、市長任命制となり大内有恒氏任命 就任 市内建物強制疎開	
	5月13日 神町、漆山飛行場爆撃 8月15日 ポツダム宣言受諾 終戦を迎える
大沼市長公職追放	3月 物価統制令公布 11月3日 日本国憲法公布 「地方自治法」公布
4月 鈴木重屹氏市長当選し就任	婦人参政権、地方首長公選により4月選挙、知事：村山道雄  農地改革実施 教育6・3・3制実施
	7月 教育委員会法公布
5月 霞城公園に市営野球場設置 山形大学創設	新庄市市制施行
	6月 朝鮮戦争始まる
7月 鈴木市長再選	9月 サンフランシスコ講和会議
10月 山形市教育委員選挙	4月 対日講和条約発効 8月 「地方公営企業法」公布（法律第292号）
	10月 「町村合併促進法」公布 厚生省、水道管理指針制定 民放ラジオ山形（現山形放送）開局
10月 山形市「市章」制定 11月 鈴木市長辞任、大久保傳藏氏市長就任 12月 山形市中央公民館設置	

年号	山形市水道関連
昭和30年 (1955年)	合併地区に対する水道布設につき調査開始 3月 不動沢貯水池につき農用水利組合との協定成る 4月 「市総合企画委員会」設置、「水部会」設置 8月 大千魃により馬見ヶ崎川涸渇、一部水道断水 高原大野目水道布設
昭和31年 (1956年)	2月 蔵王温泉簡易水道布設 4月 前田地区簡易水道布設 4月 東村山郡大曾根村合併 5月 山形市「財政再建団体」に指定 6月 山寺村（一部分離：荒谷地区）合併 8月 雁島補給水源さく井
昭和32年 (1957年)	3月 松原浄水場に急速ろ過池設置 蔵王温泉簡易水道、蔵王村から本市に引継ぎ 7月 青柳簡易水道竣工 12月 漆山住宅団地、刑務所移転に併せ水道布設工事着手 12月 山形市農政課が造林した水道水源涵養林（39ヘクタール）を水道部が取得
昭和33年 (1958年)	12月 北部水道布設、今塚簡易水道引継ぎ
昭和34年 (1959年)	4月 「山形市水資源開発委員会」、市会に「水源開発委員会」設置 下水道計画 西部水道、坊原簡易水道布設 4月 水道事業管理者設置（部長：助役等兼務） 丹野八郎氏水道事業管理者就任 5月 もみじ公園補給水源さく井
昭和35年 (1960年)	1月 高橋簡易水道竣工 3月 諏訪神社補給水源さく井 5月 片谷地簡易水道布設 8月 明治広域水道竣工
昭和36年 (1961年)	蔵王ダム調査開始 4月 西部第二水道竣工
昭和37年 (1962年)	
昭和38年 (1963年)	1月 茂木弘氏水道事業管理者就任 6月 「山形市水道企業基本計画」設定、第二次拡張案成る
昭和39年 (1964年)	第二次拡張事業（工期：昭和39年1月～昭和46年3月）、蔵王ダム取水に変更
昭和40年 (1965年)	4月 「蔵王ダム」県事業として着工
昭和41年 (1966年)	蔵王温泉簡易水道拡張 2月 平清水水道布設 9月 長橋勝義氏水道事業管理者就任
昭和42年 (1967年)	1月 公営企業法改正により専任水道事業管理者として佐々木源治氏就任 最上川中部水道企業団結成、最上川を水源に中山町、山辺町の外、山形市大曾根、村木沢地区にも通水
昭和43年 (1968年)	3月 東沢地区通水 4月 南部広域水道完成
昭和44年 (1969年)	3月 最上川表流水取水第3次拡張認可（工期：昭和44年4月～昭和52年3月） 5月 従量制水道料金実施

山形市の出来事	国・県・社会一般
5月 叶内長兵衛、大沼保吉両氏に名誉市民の称号を贈る	地方財政再建促進特別措置法公布
11月 山形市に大沼・丸久デパート開店 12月 笹原正三氏、メルボルンオリンピック・レスリングで優勝 12月 蔵王村、本沢村、柏倉門伝村、村木沢村山形市に編入合併	11月 神町進駐軍引揚げ、自衛隊設置
3月 山形市議会、原水爆実験の反対を決議 11月 山形市民の歌制定 12月 「清風荘」開設	6月 「水道法」公布
3月 第1次山形市総合計画策定 8月 山形市庁舎（三代目）竣工	下水道法制定 公共水域水質保護法（公害防止）制定 4月10日 刑務所移転起工
9月 伊勢湾台風による被害発生 12月 NHK山形放送局テレビ放送開始	2月 国体冬季大会アルペン種目が蔵王で開催される
	4月 YBC山形放送テレビ局開局 11月 仙山線全線電化
8月 公共下水道着工	水源開発促進法制定 6月 農業基本法制定
	12月 山寺立石寺根本中道解体復元工事竣工 11月 蔵王エコーライン開通
2月 キッツビューエル市（オーストリア）と姉妹都市締結	8月 第1回花笠パレード実施 蔵王が国定公園に指定
6月 山形駅前土地区画整理事業着工 10月 国道13号山形バイパス着工	6月 神町に山形空港開港 6月16日 新潟地震 山形市は震度4 9月 東海道新幹線開業 10月10日 東京オリンピック開会式
11月 金澤忠雄氏市長就任 12月 済生館三層楼重要文化財に指定	栗子ハイウェイ開通
4月 学校給食センターの給食事業開始 10月 立谷川工業団地竣工	山形バイパス着工 8月 山形民衆駅完成
3月 第2次山形市総合計画策定 山形市人口20万人突破	10月 奥羽線山形駅まで電化 12月 山形バイパス、山形飯田、天童まで開通
12月 済生館旧本館霞城公園に移転	8月 自主流通米制度発足 国民総生産が世界第2位と発表

年号	山形市水道関連
昭和45年 (1970年)	4月 「蔵王ダム」取水完成 松原浄水場、東沢浄水場に導水 12月25日 水質汚濁防止法公布
昭和46年 (1971年)	5月 見崎浄水場1期工事完成 5月 山寺簡易水道認可、工事着手 7月 見崎浄水場運転開始
昭和47年 (1972年)	4月 県営で「寒河江ダム」建設決定 5月 水道料金改定 6月 「村山広域水道調査会」発足
昭和48年 (1973年)	5月4日 山形市通水50周年 7月～8月 連日の猛暑により県内各地で断水 11月 佐藤正男氏水道事業管理者就任
昭和49年 (1974年)	3月 上水道第3次拡張事業変更認可 南部広域簡易水道を上水道に統合 高瀬地区を給水区域に編入 6月 蔵王温泉簡易水道第2次拡張事業認可 12月 山寺簡易水道給水開始
昭和50年 (1975年)	9月 見崎浄水場2期工事完成 11月17日 村山広域水道協定調印式
昭和51年 (1976年)	2月19日 県営村山広域水道用水供給事業認可 5月 水道料金改訂 5月 水質汚濁防止法一部改正 9月 山形市水道五十年史発刊 10月 水道創設50周年記念式典開催 11月 寒河江ダム着工
昭和52年 (1977年)	3月 上下水道第3次拡張事業完了 5月 見崎浄水場に排水処理施設が完成 6月23日 水道法一部改正
昭和53年 (1978年)	1月 水道料金改定 8月21日 水質基準に関する厚生省令制定
昭和54年 (1979年)	9月 佐藤幸次郎氏水道事業管理者に就任
昭和55年 (1980年)	6月 上水道第4次拡張事業認可(工期:昭和55年7月～平成元年3月) 7月 上記事業工事着手
昭和56年 (1981年)	4月 水道料金改定 8月 寒河江ダム建設工事定礎式
昭和57年 (1982年)	3月18日 水道施設管理センター南石関で着工
昭和58年 (1983年)	1月 蔵王山田地区へ給水開始 4月 鈴川配水場完成 5月4日 山形市通水60周年 「山形市水道施設管理センター完成及び通水60周年記念式典」 5月 水道施設管理センター完成 水道部が市役所内から南石関へ移転 7月 業務無線導入(すいどうやまがた) 12月 小松原配水場完成

山形市の出来事	国・県・社会一般
1月 山形テレビ開局 10月 重要文化財済生館本館を復元再建	3月 大阪で万国博覧会が開催 12月 知事選安孫子藤吉氏5選
3月 蔵王ダム落成 4月 霞城公園に県立博物館開館 7月 鈴木清助、結城哀草果両氏に名誉市民の称号を贈る	ニクソン＝ショック
1月 山形大学医学部設置決定 8月 山形インターハイ開催 10月 消防本部庁舎落成	2月 札幌冬季オリンピック開催 日の丸飛行隊メダル独占 9月 日中国交回復
7月 市民会館落成 9月 山形大学医学部開校	2月 円の変動相場制移行 7月 西吾妻スカイバレー開通 10月 第1次オイルショック
7月 市の木「ナナカマド」・市の花「ベニバナ」を制定	3月10日 鳥海山153年ぶりに噴火 佐藤栄作氏ノーベル平和賞受賞
3月 第3次山形市総合計画策定 4月 山形市中央卸売市場落成	9月 新県庁舎完成
5月 北部公民館落成 霞城公園に屋内プール落成 9月 西部工業団地竣工 10月 山形大学医学部附属病院開設	2月 ロッキード事件発覚  8月20日 県政100周年記念式典 10月29日 酒田大火1,159棟焼失 11月 昭和天皇在位50周年記念式典
8月 山形流通センター業務開始	大学入試センター設置 国民栄誉賞設置 王貞治氏受賞
6月 半郷清掃工場落成 8月 大島町（東京都）と友好都市締結	5月 新東京国際空港（成田空港）開港 6月12日 宮城県沖地震 山形市震度4 酒田市で戦後最高気温となる40.1度を記録 8月 日中平和友好条約調印 第2次オイルショック
7月 市立図書館・少年自然の家落成 山形市民憲章制定	6月 元号法公布 6月 東京サミット開催
8月 スワンヒル市（オーストラリア）と姉妹都市締結	
1月 積雪観測史上最高の113cmを記録する 11月 霞城西堀湛水事業完成	4月 笹谷トンネル開通 7月 月山新道開通
3月 第4次山形市総合計画策定 南部公民館・体育館落成	6月 東北新幹線開業
2月 全国高校スキー大会蔵王で開催 4月 西部公民館落成 大久保傳藏氏に名誉市民の称号を贈る 4月 吉林市（中国）と姉妹都市締結 11月 新庁舎（現庁舎）開庁	2月 蔵王温泉ホテル火災11名死亡  5月26日 日本海中部地震、酒田市震度4 日本海沿岸に津波  10月 三宅島噴火

年 号	山形市水道関連
昭和59年 (1984年)	3月 南山形配水場完成 3月 蔵王堀田簡易水道認可 3月 水源涵養林33ヘクタールを取得、合計72ヘクタールとなる 4月 水道料金改定 7月 県営村山広域水道から暫定給水開始 7月 小松原地区（現みはらしの丘）に給水開始
昭和60年 (1985年)	11月 水道法施行令一部改正 12月 蔵王堀田簡易水道が給水開始（蔵王堀田地区） 12月 湯田・漆房地区へ給水開始
昭和61年 (1986年)	4月 水道部独自の電算機（窓口オンラインシステム）を導入 4月 蔵王温泉浄水場無人化 11月 十日町 第二公園内に市内初の耐震貯水槽を設置 12月26日 水道法一部改正 12月 西部工業団地への給水開始
昭和62年 (1987年)	3月 上水道第四次拡張事業計画変更認可（新山地区を給水区域に編入） 4月 水道部職員の職名一本化
昭和63年 (1988年)	4月1日 太田貞雄氏水道事業管理者に就任
昭和64年 平成元年 (1989年)	1月7日 昭和天皇崩御 8日「平成」と改元 3月 上水道第四次拡張事業完了 4月 新山地区給水開始 4月 石綿セメント管及び老朽铸铁管解消10カ年計画スタート
平成2年 (1990年)	4月 財団法人山形市水道サービスセンター設立（検針業務委託化） 水道シンボルマーク制定 11月 寒河江ダム完成
平成3年 (1991年)	3月 見崎系・村山広域水道系配水コントロール施設設置 4月 県営村山広域水道からの本格受水開始 4月 企業会計システム稼働 4月 水道サービスセンターにCADシステムを導入 6月 厚生省「ふれっしゅ水道計画」策定
平成4年 (1992年)	3月 水道広報展示場「アクアパーク」完成 3月 水質係と水質検査室を見崎浄水場から管理センターに移転 4月1日 阿部勇蔵氏水道事業管理者に就任 4月7日 アクアパークオープン 12月21日 水質基準に関する省令公布
平成5年 (1993年)	4月 見崎浄水場の自動化 5月4日 山形市通水70周年 8月8日 アクア・パーク「ちびっこまつり」 9月 「山形市ふれっしゅ水道整備事業基本計画」策定 10月 検針業務にハンディターミナルを導入
平成6年 (1994年)	4月 見崎浄水場夜間宿直勤務体制による運転管理開始（夜間勤務の廃止） 4月 水道料金改定 6月1日 水道モニター制度制定 第1回モニター委嘱式（29名） 7月 3階建てへの直結給水を開始 12月1日 新水質基準に合わせ水質検査体制の強化 12月21日 宮町地内に松原系・見崎系配水制御所設置 タンクローリー式給水車の導入（2m <sup>3</sup> ）トヨタ自動車 新水質基準に合わせ水質検査体制の強化

山形市の出来事	国・県・社会一般
3月 「山形市平和都市宣言」を議決 11月 新庁舎・中央駐車場落成 農業研修センター落成	
4月 江南公民館・勤労青少年ホーム落成	1月 環境庁「名水百選」に月山自然水入選 5月 電電公社・専売公社が民営化、NTT・JT発足 8月 日航ジャンボ機墜落事故、死者520人
3月 第5次山形市総合計画策定 4月 霞城公民館落成 5月 大手町駐車場落成 5月 山形城址が国の史跡に指定 8月 蔵王高原ライン開通	5月 男女雇用機会均等法成立 11月 伊豆大島三原山大噴火 12月 山形県とアメリカ・コロラド州が姉妹県となる
3月 再開発ビル「アズ七日町」落成 「暴力のない明るい都市宣言」を議決	4月 国鉄分割民営化・JR発足 米ソ中距離核戦力全廃条約に調印
6月 山形コンベンションビューロー設置 9月 全国育樹祭 12月 「スポーツ都市宣言」を議決	3月 青函トンネル開業 4月 瀬戸大橋開通
6月 総合スポーツセンター落成 7月1日 山形市政100周年記念式典 7月 加美町（宮城県）と友好都市締結 10月 第1回山形国際ドキュメンタリー映画祭開催 12月 最上義光歴史館落成	4月 消費税制度実施（3%） 7月 山形自動車道山形北IC、寒河江IC間開通
4月 元木公民館落成 6月 「ゆとり宣言」を議決	11月 雲仙普賢岳200年ぶりに噴火 東西ドイツが統一される
2月 ウラン・ウデ市（ロシア連邦）と姉妹都市締結 3月 「米等の自給確立都市宣言」を議決 4月 蔵王公民館落成 8月 総合学習センター落成	湾岸戦争起こる 6月 雲仙普賢岳にて火砕流発生、43名死亡 7月 山形自動車道関沢IC、山形北IC開通、村田JCTから寒河江ICまでつながる
10月 済生館新本館落成	1月～第47回国民体育大会冬季大会開催 4月 東北芸術工科大学開校 7月 山形新幹線開業 9月 べにばな国体開催 （9月：夏季大会 10月：秋季大会）
3月 結城健三氏に名誉市民の称号を贈る 4月 野草園開園 11月 山形駅ビル開業	1月 高橋和雄氏県知事就任 7月 北海道南西沖地震（奥尻島）津波発生 米の大凶作、緊急輸入 プロサッカー・Jリーグ開幕
山形駅東口駅前広場完成、山形駅東口交通センター完成 4月 ボルダール市（アメリカ）と姉妹都市締結 11月 佐藤幸次郎氏市長就任 12月 金澤忠雄氏に名誉市民の称号を贈る	6月 松本サリン事件 8月 山形ビッグウイング完成、オープン  南アフリカ、黒人のマンデラ氏大統領就任（～1994年6月）



年号	山形市水道関連
平成7年 (1995年)	<p>1月17日 阪神・淡路大震災</p> <p>2月2日 神戸市及び日本水道協会の要請で復旧支援に水道部から5名、市管工事組合から5名を神戸に派遣(2/15まで)</p> <p>3月23日 松原配水場施設整備事業にてNo5調整配水池完成(3,500m<sup>3</sup>)</p> <p>3月24日 水道七十年史発刊</p> <p>3月30日 蔵王温泉簡易水道事業変更認可(取水地点変更)</p> <p>5月26日 山寺簡易水道事業認可変更(取水地点変更)</p> <p>10月5日 高度浄水処理設備導入に伴う上水道事業認可変更(浄水方法変更)</p> <p>10月31日 見崎浄水場次亜塩素素注入設備工事完成(液体塩素から次亜塩素酸ソーダに変更)</p> <p>12月15日 山寺浄水場深井戸ポンプ施設完成(日量約100m<sup>3</sup>の補助水源を追加)</p>
平成8年 (1996年)	<p>1月 見崎浄水場高度浄水施設着工(基礎工事)</p> <p>2月2日 高瀬第一増圧ポンプ場完成(切畑地区の上水道編入)</p> <p>3月11日 見崎浄水場高度浄水施設基礎工事完成</p> <p>4月1日 梅津久勇氏水道事業管理者就任</p> <p>4月1日 水道部の組織改正、経営推進課の新設、配水課を管路維持課と名称変更</p> <p>8月2日 親子一日水道教室開催(親子23人参加)</p> <p>9月18日 タンクローリー式給水車の追加導入(2m<sup>3</sup>)日野自動車</p> <p>10月31日 高瀬第二増圧ポンプ場完成</p> <p>12月5日 切畑地区配水管布設工事完成 切畑地区へ給水開始</p> <p>12月6日 蔵王温泉簡易水道原水調整池完成</p>
平成9年 (1997年)	<p>2月28日 震災時の飲料水確保を目的に松原配水場に緊急遮断弁を設置</p> <p>3月7日 震災用緊急貯水槽設置工事(霞城公民館)完成</p> <p>3月10日 震災用緊急貯水槽設置工事(薬師公園)完成</p> <p>3月14日 見崎浄水場高度浄水施設完成</p> <p>5月 高度浄水処理PR用ペットボトル「爽水みさき」(1ℓ)製作(4,000本)</p> <p>7月1日 水道料金改定(平均7.93%)</p> <p>8月6日 水道部提供番組「アクア・ファンタジア」放送開始(FMラジオ・モンスター)</p> <p>10月 第1回「水の作品」展示</p> <p>11月28日 見崎浄水場管理本館耐震補強工事完成</p>
平成10年 (1998年)	<p>1月30日 南山形配水場緊急遮断弁設置工事完成</p> <p>2月27日 最上川取水場高圧電気設備更新及び電気室増築工事完成 (ポンプ室上階にあった電気設備の新建屋への移転による更新を実施)</p> <p>3月10日 震災用緊急貯水槽設置工事(桜田小学校)完成</p> <p>3月10日 震災用緊急貯水槽設置工事(第九小学校)完成 緊急貯水槽は5基体制となる</p> <p>4月1日 企業会計システム稼働</p> <p>11月20日 宮町配水制御所増圧ポンプ設置工事完成(見崎→松原融通)</p> <p>12月4日 見崎系・松原系高精度低濁度計設置工事完成(クリプトスポリジウム対策) 精算検針業務委託開始</p>
平成11年 (1999年)	<p>3月19日 排水処理脱水工程設備更新工事完成(排水処理施設運転管理業務委託の廃止及び省エネ化) 排水処理施設「長時間型加圧脱水機」変更により稼働</p> <p>3月30日 松原浄水場新築整備に伴う上水道事業認可変更(浄水方法変更)</p> <p>10月29日 山形市水源涵養林作業小屋新築工事完成</p>
平成12年 (2000年)	<p>3月7日 見崎浄水場高圧電気設備更新に伴う高圧電気室新築工事完成 (高圧電気設備新建屋への移転による更新を実施)</p> <p>4月1日 市川昭男氏水道事業管理者就任</p> <p>4月1日 山形市水道部インターネットホームページ開設「AQUA FRONT」</p> <p>4月1日 村山広域水道用水料金改定(28%の値下げ)</p> <p>4月 水道料金審議会の設置</p> <p>7月1日 水道料金改定(4.49%の値下げ)</p> <p>9月8日 市川管理者辞任、市助役に就任 水道部長が管理者職務代理人になる</p>
平成13年 (2001年)	<p>1月22日 吉原バルブ制御所設置工事完成</p> <p>2月20日 平清水第二減圧弁設置工事完成</p> <p>4月1日 伊藤光一郎氏水道事業管理者就任</p> <p>4月 水道料金の毎月納付の取扱開始</p> <p>6月 松原浄水場新築整備事業(第一期)着工</p> <p>8月 山形ニュータウン送・配水管布設工事着工</p> <p>9月4日 蔵王堀田簡易水道事業経営変更認可(浄水方法変更)</p> <p>10月 第1回上下水道いろいろ作品展(写真・ポスター・標語)</p> <p>12月21日 村山広域水道用水供給事業の第二期計画に係る工事延期の要望(県知事あて)</p>

山形市の出来事	国・県・社会一般
4月 立谷川リサイクルセンター稼働 7月 馬見ヶ崎屋外プール(ジャバ) オープン	1月17日 阪神・淡路大震災が発生 3月20日 地下鉄サリン事件 10月 山形県郷土館「文翔館」開館
2月 総合福祉センター・男女共同参画センター落成 3月 山形市新総合計画策定 4月 野外活動センターオープン 7月 高橋高治氏に名誉市民の称号を贈る	7月 アトランタオリンピック開催
7月 馬見ヶ崎プール「ジャバ」(屋内プール) オープン 9月 ねんりんピック開催	1月 ナホトカ号重油流失事故  4月1日 消費税5%となる 4月1日 さくらんぼテレビ(SAY)放送開始  京都議定書採択
9月 「男女共同参画都市宣言」を議決 11月 佐藤市長再選	2月 長野冬季オリンピック開催 日本サッカー・ワールドカップ初出場 日本長期信用銀行等、金融機関の破綻相次ぐ 郵便番号7桁化
4月 子育て支援センター開園 10月 スポレクやまがた99開催 12月 佐藤市長辞任	サッカー・モンテディオ山形J2に参戦 12月 山形新幹線が新庄まで延伸
2月6日 吉村和夫氏市長就任 4月 中心街100円循環バス運行開始	1月 コンピュータ2000年問題 4月 山形県立保健医療大学開学 8月 松坂屋閉店 9月 シドニーオリンピック開催
1月1日 霞城セントラルビル・グランドオープン 3月 石坂公成氏に名誉市民の称号を贈る 3月 新重点プロジェクト「環境先進都市をめざして」策定 4月1日 山形市特例市に移行 4月 山形テルサオープン 10月 第13回全国生涯学習フェスティバル開催	3月31日 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園 4月26日 小泉純一郎内閣発足 5月1日 県立中央病院が青柳地区に移転 9月4日 東京ディズニーシーグランド開園 9月11日 アメリカ同時多発テロ発生 アフガニスタン空爆

年号	山形市水道関連
平成14年 (2002年)	7月1日 コンピュータマッピングシステム稼働 12月 山形市内埋設物連絡協議会発足30年 12月 「山形市第2次水道事業基本計画21STARTプラン」策定(平成15年度～24年度)
平成15年 (2003年)	2月28日 見崎浄水場中央監視制御設備更新工事完成(水処理工程の自動化) 5月4日 山形市上水道通水80周年 10月 松原浄水場新築整備事業(第二期)工事着工
平成16年 (2004年)	4月1日 岡崎教雄氏水道事業管理者就任 4月 水道広報番組リニューアル「アクア・パラダイス」放送局をやまがたシティエフエム(VigoFM)に変更。(月2回) 10月23日 新潟中越地震発生(震度6が3回)山形市から給水車3台応援車両1台と職員8名を被災地に派遣
平成17年 (2005年)	3月 転居時の水道手続き、インターネットから可能に 4月 鉛製給水管布設替工事費助成制度を開始 12月 市議会で水道料金体系見直しについて議決
平成18年 (2006年)	山形市水道経営改革プラン策定(平成17年度～21年度) 3月 市議会において水道事業と下水道事業の合併について質疑 3月 山形ニュータウンへの配水施設工事完成 3月 松原浄水場新築整備事業工事完成 3月15日 山形市水道通水80周年記念事業・新松原浄水場通水式 3月 新松原浄水場完成に伴う浄配水施設総合コントロールシステムの運用開始 4月1日 山形市水道部コンピュータマッピングシステム連動・設計積算システム稼働 7月1日 水道料金改正(メーター口径13mmと20mmの基本水量を廃止、従量料金制とした)
平成19年 (2007年)	3月 小松原配水場廃止(蔵王みはらしの丘配水場完成に伴う) 4月 FMラジオスポット広報番組開始(山形コミュニティ放送:FMラジオモンスター) 4月 山形市第2次水道基本計画21STARTプラン2ndステージとなる 7月 配水区域ブロック化事業開始 9月7日 台風9号により不動沢取水場取水施設被災(護岸等流出) 10月15日 村山広域水道用水供給事業の第二期計画に係る工事延期の要望(県知事あて) 11月20日 面白山原水調整池完成(面白山取水場停電対策)
平成20年 (2008年)	1月 水道料金・下水道使用料のコンビニ納入始まる 3月 不動沢取水場復旧工事完了 4月1日 芳賀賢二氏水道事業管理者就任 村山広域水道用水料金改定(27.5%の値下げ) 村山広域水道責任水量引き下げ(基本水量の70%→65%) 12月 宿日直業務を委託化
平成21年 (2009年)	2月 仙山線面白山取水場・山寺浄水場間導水管の更新工事完成 3月17日 タンクローリー式給水車の追加導入(2m <sup>3</sup> )いすゞ自動車 3月19日 立谷川増圧ポンプ場更新工事完成(全面更新完了) 3月 見崎浄水場配水ポンプ配水管改良工事完成(場内配水管2系統化完了) 3月 水質検査部門が、日本水道協会の「水道GLP」(水道水質検査優良試験所規範)の認定を取得する 3月 下水道部が市役所から上下水道施設管理センターへ移転 4月1日 山形市上下水道部発足 4月1日 下水道事業の地方公営企業法適用 水道事業と下水道事業の組織統合 4月 給水装置工事受付業務を水道サービスセンターに委託 12月15日 南石関地区耐震貯水槽(100m <sup>3</sup> )設置工事完成
平成22年 (2010年)	3月10日 見崎浄水場電気設備等更新工事完成(平成21年～22年度:9億6千5百万円) 4月1日 瀧井潤氏上下水道事業管理者就任 9月 山形市水道経営改革プラン策定(平成22年度～26年度) 水道使用等に係る受付・入力業務を山形市水道サービスセンター(現山形市上下水道技術センター)へ全面委託

山形市の出来事	国・県・社会一般
9月 「ナナ・ビーンズ」オープン 12月 JR山形駅東口にペDESTリアンデッキ完成	6月 サッカー2002FIFAワールドカップ日本・韓国で開催 6月 第53回全国植樹祭（金山町） 9月 東北中央自動車道路（山形上山IC～東根IC間）開通
2月 ISO14001認証取得 7月 「蔵王みはらしの丘」まちびらき 8月20日 吉村市長死去 27日市葬 9月 市川昭男氏市長就任 10月4日 第18回国民文化祭やまがた2003開催 12月 ほっとなる広場公園完成	5月 個人情報保護法成立
2月 第59回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催 7月 金井公民館落成 8月 鈴川公民館落成	8月 アテネオリンピック開催 10月23日 新潟中越地震（M6.8）発生
4月 西公園完成 市民活動支援センター開設 11月 山形市新行財政改革プラン 11月 ダイエー山形店閉店	1月 齋藤弘県知事就任 4月 庄内町・新鶴岡市・新酒田市誕生 （13市19町3村となる） 4月25日 JR福知山線脱線事故 12月25日 羽越本線特急いなほ脱線事故
4月 「山形市基本構想」策定 4月 霞城公園が「日本100名城」に認定される 4月1日 みはらしの丘小学校開校	5月 県産品の「山形セレクション」認定制度開始 9月 安倍晋三内閣発足 10月 国勢調査で日本の人口が減少局面になる 7月 原油高によりガソリン価格が高騰
4月 「山形市新総合計画」（第7次総合計画）がスタート 9月 市川市長再選	5月14日 国民投票法が成立 7月16日 平成19年新潟県中越沖地震（M6.8） 8月16日 埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で40.9度を記録 （1933年山形市の40.8度を上回る）
3月 スペシャルオリンピックス日本冬季大会開催 10月 大郷公民館落成 10月24日 全国男女共同参画宣言都市サミット開催	4月 後期高齢者医療制度がスタート 6月14日 岩手・宮城内陸地震発生 8月 北京オリンピック開催 9月 リーマンショック 11月 アメリカ大統領選でオバマ氏当選
4月 新学校給食センターの給食事業開始 12月 山形まるごと館「紅の蔵」開業	1月 吉村美栄子県知事就任 5月 新型インフルエンザの感染広がる 5月21日 裁判員裁判が始まる 10月 オバマ氏にノーベル平和賞
4月 山形まなび館開館 4月 水の町屋 七日町御殿堀開業 7月1日 家庭系ごみの有料化を導入 12月 はながたベニちゃん誕生	県産米新品種「つや姫」本格デビュー 6月13日 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに帰還 7月～8月 日本で記録的猛暑となる

年 号	山形市水道関連
平成23年 (2011年)	<p>3月11日 14時46分 東日本大震災発生 (M9.0) 山形市震度 4 山形市も全域停電 15時30分 山形市災害対策連絡会議を招集 16時40分 警戒 2号配備体制 電気停電 11日15時07分 ~ 12日21時30分 山寺地区を最後に復電 水道被害 13件 給水車対応 14日午前 5時市内全面復旧 第二公園、薬師公園、第九小学校の緊急貯水槽を開放</p> <p>4月1日 蔵王温泉・山寺・蔵王堀田簡易水道を上水道に統合 8月1日 山形市上下水道部水道管路情報システム機器モバイルパソコン導入</p>
平成24年 (2012年)	<p>3月28日 第3ロット中央広場整備工事完成 4月1日 長谷川博一氏上下水道事業管理者就任 4月1日 経営企画課に広報広聴係を新設 5月7日 全面的な再構築を行った水道料金等管理システム(SUIBIZ)の運用開始 9月 浄水課を見崎浄水場内に移転 12月 山形市内埋設物連絡協議会発足40年</p>
平成25年 (2013年)	<p>1月18日 松原配水場調整池耐震補強工事完成 3月25日 管理センター敷地内に技術研修施設が完成 3月 山形市上下水道事業基本計画策定 4月1日 山形市水運用センターを新設 (旧見崎浄水場) 4月 転入者向けキャンペーン実施 (平成26年4月も実施) 5月4日 山形市上水道通水90周年 6月1日 上下水道施設見学会「水めぐりツアー」実施 7月18日 大雨による河川濁りにより県営村山広域水道が給水停止、6市6町の水道が断水等の影響を受ける 豪雨による県水系受水停止の際、制御施設を除き完成していた松原・県水系間バックアップ管路を緊急使用して市内の断水を回避。 9月13日 上下水道施設見学会「水めぐりツアー」実施 9月 最上川取水場取水ポンプ設備更新工事 (3・4号) 完成 (最低取水量 2万m<sup>3</sup>/日となる) 10月 最上川中部水道企業団山形市域徴収開始</p>
平成26年 (2014年)	<p>2月26日 管理センター燃料備蓄庫設置工事完成 3月 宅地内給水管漏水修繕事業「漏水防止基本計画」(平成26年度~平成29年度) 策定 4月1日 山形市上下水道部水道管路情報システムと下水道台帳を統合 7月1日 山形市上下水道部上下水道図面自動交付システム稼働 9月 松原浄水場小水力発電施設が完成、稼働 10月29日 上下水道施設見学会「水めぐりツアー」実施 11月 水道料金・下水道使用料のクレジットカード決済始まる</p>
平成27年 (2015年)	<p>3月6日 不動沢流量制御所完成 (不動沢取水量を蔵王ダム導水管へ一本化) 4月1日 組織改正 5月 山形市上下水道事業経営改革重点プラン策定 (平成27年度~平成31年度) 9月30日 上下水道施設管理センター内に太陽光発電設備完成、稼働 9月30日 最上川取水場取水カルバート補強工事 (下流) 完成</p>
平成28年 (2016年)	<p>4月14日 21時26分 熊本地震発生 (M6.5 最大震度 7 震源地: 熊本県熊本地方) 4月29日 災害派遣隊出発 (10名・車両 4台) 5月2日~7日 復旧作業にあたる 5月11日 災害派遣隊帰還 相関式漏水探知機導入</p>
平成29年 (2017年)	<p>3月30日 障がい者用呼び出しインターホンの設置 3月31日 ボトル水「山形市の水道水」製造中止 5月26日 村山広域水道用水供給事業の第二期計画に係る工事延期の要望 (県知事あて) 12月21日 上下水道管路情報システム災害支援事業「防災・災害情報システム」導入計画策定 12月28日 山形市水道広報展示場 (アーク・パーク) 廃止 12月 漏水防止対策事業「配水ブロック整備計画」策定 (平成30年度~令和9年度) 12月 山形市上下水道部第二次要員計画の策定 (平成30年度~平成36年度) 12月13日 日本下水道管路管理業協会との災害時の協定締結</p>

山形市の出来事	国・県・社会一般
4月 地区公民館がコミュニティセンターに移行 7月 山形定住自立圏形成協定締結 9月 市川市長が3選	3月 長井ダム完成 3月11日 東日本大震災発生 東京電力福島第一原子力発電所事故発生 7月 地上波テレビ放送がデジタル化 7月 サッカー女子ワールドカップでなでしこジャパンが優勝
3月 双葉小学校開校 10月 消防署西崎出張所、市民防災センター開所	5月22日 東京スカイツリー開業 8月 消費増税法が成立(2014年4月から8%) 8月 ロンドンオリンピックで日本が史上最多のメダル獲得
4月24日 十日町双葉町線(山形駅南アンダー)開通 4月～11月 最上義光公没後400年記念事業開催 10月 第1回山形まるごとマラソン開催	1月10日 県知事選挙で吉村美栄子氏再選 5月5日 長嶋茂雄氏・松井秀喜氏に国民栄誉賞 6月22日 世界文化遺産に登録される 8月12日 高知県四万十市で史上最高の41.0度を記録 11月3日 東北楽天が日本シリーズを制し日本一に
2月 第69回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催 4月 消費税が8%に引き上げ 4月 ベニちゃんバス(西くるりん)運行開始 5月24日～25日 東北六魂祭開催	4月 山形県立米沢栄養大学開学 9月27日 御嶽山が噴火し多くの登山客が巻き込まれる 8月20日 広島で土砂災害が発生する 10月12日 県遊学の森(金山町)で第38回全国育樹祭開催 11月16日 東北中央自動車道 尾花沢～野黒沢間開通
7月 ベにっこひろばランドオープン 9月13日市長選で佐藤孝弘氏当選 28日市長就任	6月19日 改正公職選挙法施行 18歳選挙権認める 9月10日～11日 酒田・鶴岡市で全国豊かな海づくり大会開催 9月19日 ラグビーW杯で日本が南アフリカに歴史的勝利 12月 鶴岡市がユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野で登録
1月 マイナンバーカード交付開始 2月 山形市発展計画策定 3月 嶋遺跡公園全面供用開始 5月 山形中央インター産業団地竣工 11月 仙台市と山形市の連携に関する協定締結	1月1日 マイナンバー制度が導入される 4月14日～16日 熊本地震発生 11月9日 アメリカでトランプ氏大統領当選
7月 ベニちゃんバス(東くるりん)運行開始 9月 きらやかスタジアムオープン(総合スポーツセンター) 10月 山形市がユネスコ創造都市ネットワークに加盟認定 12月 台南市との友好交流促進に関する協定締結	1月5日 県知事選挙で吉村美栄子氏再選 1月20日 トランプ大統領が就任「アメリカ第一主義」を宣言 2月24日 プレミアムフライデー開始 7月5日～6日 九州北部豪雨により大規模な被害が発生 10月 技能五輪全国大会が山形市を中心に開催 11月4日 東北中央自動車道 福島大笹生～米沢間開通

年号	山形市水道関連
平成30年 (2018年)	<p>4月1日 水道料金等徴収業務をヴェオリア・ジェネッツ株式会社に委託し窓口名称を「料金センター」とした</p> <p>4月1日 水道・下水道使用受付業務を山形市水道サービスセンター(現 山形市上下水道技術センター)に委託し窓口名称を「お客さまサービスセンター」とした 平日電話受付時間を18時までとした</p> <p>4月1日 給排水関連業務を山形市水道サービスセンターに委託し、窓口名称を「給排水センター」とした</p> <p>4月1日 村山広域水道用水料金改定(12%の値下げ) 村山広域水道責任水量引き下げ(基本水量の65%→60%)</p> <p>4月1日 組織改正</p> <p>4月1日 水道料金等徴収業務、給排水関連業務、お客さまサービスセンター業務をそれぞれ包括委託</p> <p>11月9日 山形県水道事業広域連携検討会(県内4圏域)の発足、村山圏域水道事業広域連携検討会(構成員:7市7町の15水道事業者、水道用水供給事業者、県)への参加 宅地内給水管漏れ水修繕事業「漏水防止基本計画」(平成30年度～令和4年度)策定</p>
平成31年 令和元年 (2019年)	<p>4月1日 南石関ポンプ場の整備工事に着手</p> <p>6月7日 村山圏域水道事業広域連携検討会中間報告(単独経営シミュレーション)</p> <p>9月 山形市上下水道部人材育成・技術継承基本方針の策定</p> <p>10月1日 水道法改正</p> <p>12月9日 台風被害復旧のため福島県いわき市へ職員3名派遣(3/15まで)</p> <p>12月13日 蔵王ダム導水管水管橋耐震補強工事完成</p> <p>12月16日 「山形県の水道の未来を考える集い」開催(主催:山形県・日本水道協会山形県支部)</p>
令和2年 (2020年)	<p>3月 第一次上下水道部経営改革推進プラン策定(令和2年度～令和4年度)</p> <p>4月1日 庄司新一氏上下水道事業管理者就任</p> <p>4月1日 組織改正</p> <p>4月1日 日本水道協会へ職員1名派遣(1年間) 台風被害復旧のため福島県いわき市へ職員1名派遣(1年間)</p> <p>7月26日～29日 令和2年7月豪雨発生</p> <p>7月28日 大雨による河川濁りにより村山広域水道が給水制限(60%)、蔵王ダム臨時取水量増量で対応 県水系間バックアップ管路を緊急使用して市内の断水を回避</p> <p>7月 水道施設の冠水により尾花沢市大石田町環境衛生事業組合の給水区域において全戸断水(5,400世帯) 山形市は7月29日～8月1日の3日間応急給水応援を実施</p>
令和3年 (2021年)	<p>2月19日 南石関ポンプ場完成(見崎→松原融通)</p> <p>3月31日 南石関ポンプ場の整備工事が完成</p> <p>4月1日 総務課に防災係を新設</p> <p>4月1日 「防災・災害情報システム」稼働</p> <p>11月 蔵王温泉浄水場高区配水池耐震補強工事完成 相関式漏水探知機更新</p>
令和4年 (2022年)	<p>2月14日 上下水道部ホームページリニューアル</p> <p>3月 村山圏域水道事業広域連携検討会最終報告(広域連携シミュレーション)</p> <p>6月23日 上下水道部YouTubeチャンネル開設 上下水道部Twitter(現X)による広報開始</p> <p>8月3日からの記録的豪雨により山形県・新潟県・北陸地方を中心に大きな被害発生</p> <p>8月5日～6日 飯豊災害への災害派遣</p> <p>12月 山形市内埋設物連絡協議会発足50年</p>



山形市の出来事	国・県・社会一般
3月17日 旅籠町にぎわい拠点「gura(ぐら)」オープン 7月10日 山形市で43年ぶりにプロ野球1軍戦開催	4月15日 東北中央自動車道 大石田村山一尾花沢間開通 6月28日～7月8日 7月豪雨 全国的な豪雨被害発生 7月6日～7日 西日本豪雨 9月6日 台風21号により関西国際空港が閉鎖 9月6日 北海道胆振東部地震発生 震度7を記録 ブランド米「雪若丸」本格販売開始
4月 山形市が中核市に移行 6月25日 「山形市くらしのガイド」完成 6月27日 山形連携中核都市圏推進会議開催 9月8日 山形市長選挙で佐藤孝弘氏再選	3月23日 東北中央自動車道 東根一東根北間開通 4月13日 東北中央自動車道 南陽高島一山形上山間開通 4月30日 明仁天皇退位 5月1日 徳仁天皇即位「令和」と改元 10月 消費税を10%に引上げ
1月 大沼山形閉店 3月 山形市発展計画2025策定 6月 山形まるごとマラソンを中止し「まるごとマラソン2020オンライン」開催を決定する	1月20日 横浜港に寄港したダイヤモンド・プリンセス号で多数の新型コロナウイルス感染者が発生 3月2日 新型コロナウイルスの感染拡大防止策として全国の公立諸学校が臨時休校となる 3月11日 春夏の高校野球大会の中止が決定 3月13日 「新型コロナウイルス対策特別措置法」が成立 4月 全国にガーゼ製布マスクが配布される 7月 九州豪雨 77人が犠牲となる
5月22日～23日 「東北絆まつり2021山形」開催 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため縮小開催)	1月24日 県知事選挙で吉村美栄子氏再選 1月 大学入学共通テストが実施される 2月 新型コロナワクチン接種開始 7月3日 静岡・熱海で土石流発生 7月23日～8月8日 東京オリンピックが開催される 7月27日 山形県SDGs推進本部を設置 10月 大谷翔平氏ア・リーグMVPに選出される 10月30日 全国の緊急事態宣言とまん延防止地域が解消 12月11日 東北中央自動車道 村山本飯田一石田村山間開通
4月1日 山形市立商業高校の新校舎使用開始 4月 山形市南部児童遊戯施設「コバル」オープン 9月 創造都市やまがた拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンターQ1」オープン	1月20日 東北中央自動車道 新庄鮭川一新庄真室川間開通 2月20日 冬季五輪北京大会で日本勢は過去最多のメダル獲得 2月24日 ロシアがウクライナ侵攻を開始 3月16日 宮城・福島で震度6強の地震・東北新幹線脱線 7月8日 安倍晋三元首相が銃撃され死亡 8月5日 県南置賜中心に豪雨被害・過去最悪の被害額となる 8月22日 夏の甲子園で仙台育英高校が優勝(東北勢初)



年号	山形市水道関連
令和5年 (2023年)	2月1日 上下水道コンサルタント協会と協定締結 3月28日 水道通水100周年記念新型給水車納車 4月1日 山形市上下水道事業基本計画「NEXTビジョン2023」スタート 6月2日 山形市水道通水100周年記念式典（メトロポリタン山形） 7月 水道料金システムを完全民間委託化する 7月30日 水道通水100周年記念「水道サマーフェスティバル」（上下水道施設管理センター） 8月2日 “ 施設見学バスツアー①（親子対象） 10月12日 “ 施設見学バスツアー②（一般対象）

山形市の出来事	国・県・社会一般
9月10日 山形市長選挙で佐藤孝弘氏再選 11月4日 山形五堰が世界かんがい施設遺跡に登録される 12月3日 道の駅やまがた蔵王オープン	3月17日 車いすテニスの国枝慎吾さんに国民栄誉賞 3月21日 侍ジャパンWBCで優勝世界一に 5月8日 新型コロナウイルス感染症が5類感染症扱いとなる 5月19日～21日 広島で先進7か国首脳会議 9月1日 今年の夏(6～8月)の平均気温が過去最高と発表 10月1日 消費税のインボイス制度が開始 10月 10月末で全国のクマ被害過去最多

## 水道料金の変遷

区分 年度	一 般 用			浴 場 営 業 用						
	家庭用、団体用、工業用			営業用、浴場業用						
大正8年 ※大正7年 12月「水道使 用条例」改正	基本料金 超過料金	70石まで 500石まで1石につき	56銭 8銭	基本料金 超過料金	500石まで 1,500石まで10石につき	2円50銭 5銭				
	超過料金 超過料金	2,000石まで1石につき 5,000石まで1石につき	7銭 6銭	超過料金	1,500石以上10石につき	3銭				
大正9年	基本料金 超過料金 超過料金 超過料金 超過料金	70石まで 500石まで1石につき 2,000石まで1石につき 5,000石まで1石につき 5,000石以上1石につき	84銭 12銭 10銭 9銭 8銭	基本料金 超過料金 超過料金	500石まで 1,500石まで10石につき 1,500石以上10石につき	4円 8銭 5銭				
大正11年	基本料金 超過料金 超過料金 超過料金 超過料金 超過料金	12㎡まで 100㎡まで1㎡につき 100㎡以上1㎡につき 200㎡以上1㎡につき 400㎡以上1㎡につき 600㎡以上1㎡につき 1,000㎡以上1㎡につき	84銭 7銭 6銭5厘 5銭5厘 5銭 4銭5厘 4銭	基本料金 超過料金 超過料金	100㎡まで 300㎡まで1㎡につき 300㎡以上1㎡につき	4円50銭 4銭5厘 3銭				
昭和11年	同 上			同 上						
昭和14年	同 上			同 上						
昭和19年	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	1円 10銭	基本料金 超過料金	100㎡まで 1㎡につき	5円 5銭				
昭和20年	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	1円30銭 13銭	同 上						
昭和21年 3月	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	2円 20銭	基本料金 超過料金	100㎡まで 1㎡につき	7円 10銭				
昭和21年 10月	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	5円 50銭	基本料金 超過料金	100㎡まで 1㎡につき	17円 30銭				
昭和22年 2月	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	8円 80銭	基本料金 超過料金	100㎡まで 1㎡につき	28円 50銭				
昭和22年 7月	基本料金 超過料金	8㎡まで 1㎡につき	30円 3円	基本料金 超過料金	100㎡まで 1㎡につき	100円 2円				
区分 年度	家 庭 用		団 体 用	工 業 用	営 業 用	浴 場 用				
昭和23年	基本料金 10㎡まで 超過料金 1㎡につき	50円 6円50銭	基本料金 20㎡まで 超過料金 1㎡につき	100円 6円50銭	基本料金 100㎡まで 超過料金 1㎡につき	500円 6円50銭	基本料金 20㎡まで 超過料金 1㎡につき	160円 10円	基本料金 200㎡まで 超過料金 1㎡につき	700円 4円
昭和27年	基本料金 10㎡まで 超過料金 1㎡につき	70円 8円	基本料金 20㎡まで 超過料金 1㎡につき	140円 9円	基本料金 100㎡まで 超過料金 1㎡につき	700円 13円	基本料金 20㎡まで 超過料金 1㎡につき	210円 13円	基本料金 200㎡まで 超過料金 1㎡につき	980円 6円

特 別 用			共用栓	放 任 給 水				消 火 栓 演 習 用
観賞用、臨時用				家族 5人まで	一人増す ごとに	支栓1栓 増すごとに	支栓1栓 増すごとに	
基本料金	50石まで	2銭	1戸につき 15銭 牛 馬 1頭につき 10銭	50銭	5銭	10銭	10銭	1栓1回 1円
超過料金	1石につき	1銭5厘						
基本料金	50石まで	3銭	1戸につき 25銭 牛 馬 1頭につき 15銭	80銭	10銭	20銭	15銭	1栓1回 2円50銭
超過料金	1石につき	2銭5厘						
基本料金	20㎡まで	2円	共 用 栓				同上	
超過料金	1㎡につき	8銭						
			基本料金	10㎡まで			30銭	
			超過料金	1㎡につき			3銭	
同	上		基本料金	8㎡まで			45銭	同上
			超過料金	1㎡につき			3銭	
同	上		基本料金	8㎡まで			36銭	同上
			超過料金	1㎡につき			3銭	
基本料金	20㎡まで	5円	基本料金	6㎡まで			50銭	同上
超過料金	1㎡につき	20銭	超過料金	1㎡につき			5銭	
基本料金	20㎡まで	6円50銭	基本料金	6㎡まで			65銭	同上
超過料金	1㎡につき	26銭	超過料金	1㎡につき			7銭	
基本料金	20㎡まで	10円	基本料金	6㎡まで			1円	1栓10分間 5円
超過料金	1㎡につき	40銭	超過料金	1㎡につき			10銭	
基本料金	20㎡まで	30円	基本料金	6㎡まで			2円50銭	1栓10分間 15円
超過料金	1㎡につき	1円30銭	超過料金	1㎡につき			25銭	
基本料金	20㎡まで	50円	基本料金	6㎡まで			4円	1栓10分間 30円
超過料金	1㎡につき	2円	超過料金	1㎡につき			40銭	
基本料金	20㎡まで	200円	基本料金	6㎡まで			15円	1栓10分間 100円
超過料金	1㎡につき	10円	超過料金	1㎡につき			1円50銭	
観 賞 用	臨 時 用		共 用 栓				消火栓	
基本料金	10㎡まで	500円	1㎡につき	4円50銭	基本料金	10㎡まで	35円	1栓10分間
超過料金	1㎡につき	50円						
基本料金	10㎡まで	600円	1㎡につき	6円50銭	基本料金	10㎡まで	50円	1栓10分間
超過料金	1㎡につき	60円						

年度	区分	家庭用	団体用	工業用	営業用	浴場業用	
昭和29年 市水道使用条例 昭和28年3月 市条例第18号		基本料金 10㎡まで 100円 超過料金 1㎡につき 11円	基本料金 20㎡まで 200円 超過料金 1㎡につき 12円	基本料金 100㎡まで 1,000円 超過料金 1㎡につき 12円	基本料金 20㎡まで 270円 超過料金 1㎡につき 12円	基本料金 200㎡まで 1,100円 超過料金 1㎡につき 8円	
昭和31年 市水道使用条例 昭和31年4月 一部改正		基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 13円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 14円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 14円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 18円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 10円	
昭和34年 市水道給水条例 昭和33年制定 市条例22号		基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 15円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 15円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 15円	基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 20円	同上	
昭和40年 4月 市水道給水条例 昭和39年12月 一部改正		基本料金 10㎡まで 180円 超過料金 1㎡につき 25円	基本料金 20㎡まで 450円 超過料金 1㎡につき 30円 (一般用に改める)	基本料金 100㎡まで 2,000円 超過料金 1㎡につき 25円	団体用に同じ (一般用に改める)	基本料金 200㎡まで 2,500円 超過料金 1㎡につき 20円	
メータ口径 料金		13mm	16mm	20mm	25mm	30mm	40mm
昭和44年 5月 市水道給水条例 昭和43年改正 口径別料金体系		基本料金 10㎡まで 210円	基本料金 10㎡まで 270円	基本料金 10㎡まで 320円	基本料金 10㎡まで 390円	基本料金 470円 基本水量なし	基本料金 730円 基本水量なし
		使用水量10㎡をこえ20㎡までの分1㎡につき 使用水量20㎡をこえる分1㎡につき			30円 43円	使用水量1㎡から20㎡までの分1㎡ 使用水量20㎡をこえる分1㎡	
メータ口径 料金		13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm
昭和47年 5月		基本料金 10㎡まで 280円	基本料金 10㎡まで 450円	基本料金 10㎡まで 550円	基本料金 670円	基本料金 1,050円	
		使用水量10㎡をこえ20㎡までの分1㎡につき 使用水量20㎡をこえる分1㎡につき			43円 67円	使用水量1㎡から20㎡までの分1㎡ 使用水量20㎡をこえる分1㎡	
メータ口径 料金		13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm
昭和51年 5月 市水道給水条例 昭和50年12月 改正		基本料金 10㎡まで 500円	基本料金 10㎡まで 830円	基本料金 960円	基本料金 1,350円	基本料金 2,050円	基本料金 4,580円
		使用水量10㎡をこえ15㎡までの分1㎡につき 72円 使用水量15㎡をこえる分1㎡につき 93円		使用水量1㎡から15㎡までの分1㎡ 使用水量15㎡をこえる分1㎡			

観賞用		臨時用		プール用		共用栓		消火栓
基本料金 10㎡まで 900円 超過料金 1㎡につき 90円		1㎡につき 15円		1㎡につき 8円		基本料金 10㎡まで 65円 超過料金 1㎡につき 9円		1栓10分間 300円
基本料金 (同上) 超過料金 1㎡につき 100円		同上		同上		基本料金 8㎡まで 65円 超過料金 1㎡につき 10円		同上
同上		同上		同上		同上		同上
基本料金 10㎡まで1,500円 超過料金 1㎡につき 170円		1㎡につき 30円		1㎡につき 20円		基本料金 8㎡まで 110円 超過料金 1㎡につき 20円		1栓10分間 500円
50mm	75mm	100mm	150mm	公衆浴場業用	共用栓		消火栓 (演習用)	
					家事用	その他		
基本料金 1,490円 基本水量なし	基本料金 2,690円 基本水量なし	基本料金 4,230円 基本水量なし	基本料金 8,530円 基本水量なし	基本料金 (各口径別料金と同じ)	基本料金 8㎡まで 120円	基本料金 なし 1㎡につき 30円	1栓10分間 につき 500円	
につき につき			30円 43円	使用水量200㎡まで1㎡につき12円 200㎡をこえる分1㎡につき21円	9㎡以上1㎡ につき20円			
50mm	75mm	100mm	150mm	公衆浴場業用	共用栓		消火栓 (演習用)	
					家事用	その他		
基本料金 2,040円	基本料金 3,880円	基本料金 6,400円	基本料金 13,800円	基本料金 (各口径別料金と同じ)	基本料金 8㎡まで 170円	基本料金 なし 1㎡につき 43円	1栓10分間 につき 500円	
につき につき			43円 67円	1㎡~200㎡1㎡につき17円 200㎡以上1㎡につき29円	9㎡以上1㎡ につき28円			
75mm	100mm	150mm	200mm	公衆浴場業用	共用栓		消火栓 (演習用)	
					家事用	その他		
基本料金 8,090円	基本料金 12,800円	基本料金 27,400円	基本料金 46,800円	基本料金 (各口径別料金と同じ)	基本料金 8㎡まで 270円	基本料金 (各口径別 料金と同じ)	1栓10分間 につき 1,000円	
につき につき			72円 93円	1㎡につき 33円	9㎡以上1㎡ につき45円	1㎡につき 63円		

メータ口径 料金	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm
昭和53年 1月 市水道給水条例 昭和52年9月 改正	基本料金 10m <sup>3</sup> まで 630円	基本料金 10m <sup>3</sup> まで 940円	基本料金 1,010円	基本料金 1,410円	基本料金 2,190円	基本料金 4,700円
	使用水量10m <sup>3</sup> をこえ15m <sup>3</sup> までの分1m <sup>3</sup> につき 89円 使用水量15m <sup>3</sup> をこえる分1m <sup>3</sup> につき 115円		使用水量1m <sup>3</sup> から15m <sup>3</sup> までの分1m <sup>3</sup> 使用水量15m <sup>3</sup> をこえる分1m <sup>3</sup>			

## 昭和56年4月～昭和59年3月

区 分	上 水 道						蔵王温泉簡易水道						山寺簡易水道																		
	基本料金		従量料金				基本料金		従量料金				基本水量		従量料金																
	水 量	金 額	第1段		第2段		水 量	金 額	第1段		第2段		水 量	金 額	第1段		第2段														
			水 量	金 額	水 量	金 額			水 量	金 額	水 量	金 額			水 量	金 額	水 量	金 額													
一 般 用	13 mm	10m <sup>3</sup> まで	円 770	1m <sup>3</sup> ～ 15 m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup> につき 110 円	16 m <sup>3</sup> 以上	1m <sup>3</sup> につき 142 円	8m <sup>3</sup> まで	円 780	9m <sup>3</sup> ～ 15m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup> につき 110 円	16m <sup>3</sup> 以上	1m <sup>3</sup> につき 142 円	8m <sup>3</sup> まで	円 830	9m <sup>3</sup> ～ 15m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup> につき 110 円	16m <sup>3</sup> 以上	1m <sup>3</sup> につき 150 円												
	20 mm	"	円 1,170				水量 なし	円 1,540						水量 なし	円 1,540																
	25 mm	水量 なし	円 1,290	1m <sup>3</sup> ～15m <sup>3</sup> 1m <sup>3</sup> につき 110円		16m <sup>3</sup> 以上 1m <sup>3</sup> につき 142円		"	円 1,820	1m <sup>3</sup> ～15m <sup>3</sup> 1m <sup>3</sup> につき 110円		16m <sup>3</sup> 以上 1m <sup>3</sup> につき 142円		"	円 1,820	1m <sup>3</sup> ～15m <sup>3</sup> 1m <sup>3</sup> につき 110円		16m <sup>3</sup> 以上 1m <sup>3</sup> につき 150円													
	30 mm	"	円 1,790					"	円 2,100					"	円 2,400																
	40 mm	"	円 2,780					"	円 3,220					"	円 4,300																
	50 mm	"	円 5,770					"	円 5,770																						
	75 mm	"	円 10,650																												
	100 mm	"	円 17,330																												
	150 mm	"	円 37,220																												
	200 mm	"	円 63,690																												
浴場業用		"	各口径 料金					1m <sup>3</sup> につき50円																							
供 用 栓	家事 用	8m <sup>3</sup> まで	円 400					1m <sup>3</sup> につき69円																							
	その 他	水量 なし	各口径 料金	1m <sup>3</sup> につき98円																											

75mm	100mm	150mm	200mm	公衆浴場業用	共用栓		消火栓 (演習用)
					家事用	その他	
基本料金 8,700円	基本料金 14,000円	基本料金 30,100円	基本料金 52,000円	基本料金 (各口径別料金と同じ)	基本料金 8㎡まで 320円	基本料金 (各口径別 料金と同じ)	1栓10分間 につき 1,300円
につき につき			89円 115円	1㎡につき 40円	9㎡以上1㎡ につき55円	1㎡につき 78円	

## 昭和59年4月～平成6年3月（上水道・簡易水道の料金を統一）

区 分		基本料金		従 量 料 金			
		水 量	金 額	第 1 段		第 2 段	
				水 量	金 額	水 量	金 額
一 般 用	13mm	10㎡まで	1,050円	11㎡～ 15㎡	1㎡につき 134円	16㎡以上	1㎡につき 180円
	20mm	〃	1,650円	1㎡～15㎡ 1㎡につき 134円	16㎡以上 1㎡につき 180円		
	25mm	水量なし	1,850円				
	30mm	〃	2,590円				
	40mm	〃	4,110円				
	50mm	〃	7,860円				
	75mm	〃	15,040円				
	100mm	〃	24,830円				
	150mm	〃	54,600円				
200mm	〃	94,260円					
浴場業用		〃	各口径料金	1㎡につき		61円	
供用栓	家事用	8㎡まで	550円	9㎡以上1㎡につき		84円	
	その他	水量なし	各口径料金	1㎡につき		119円	

※平成元年8月からの水道料金は、上記料金表で定める基本料金と従量料金との合計額に100分の103を乗じた額とする。

## 平成6年4月～適用

区 分		基本料金		従 量 料 金			
		水 量	金 額	第 1 段		第 2 段	
				水 量	金 額	水 量	金 額
一 般 用	13mm	10㎡まで	1,250円	11㎡～ 20㎡	1㎡につき 185円	20㎡以上	1㎡につき 180円
	20mm	〃	1,970円	1㎡～20㎡ 1㎡につき 185円	20㎡以上 1㎡につき 215円		
	25mm	水量なし	2,270円				
	30mm	〃	3,110円				
	40mm	〃	5,980円				
	50mm	〃	10,250円				
	75mm	〃	22,510円				
	100mm	〃	36,640円				
	150mm	〃	79,260円				
200mm	〃	111,940円					
浴場業用		〃	各口径料金	1㎡につき		72円	

備考1：水道料金は、上記料金表で定める基本料金と従量料金との合計に100分の103を乗じた額とする。



## 平成9年7月～適用

区 分		基本料金		従 量 料 金	
		水 量	金 額	第 1 段	第 2 段
一 般 用	13mm	10m <sup>3</sup> まで	1,350円	11m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> 1 m <sup>3</sup> につき200円	20m <sup>3</sup> を超える分 1 m <sup>3</sup> につき 231円
	20mm	"	2,140円		
	25mm	水量なし	2,470円		
	30mm	"	3,380円	1 m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> 1 m <sup>3</sup> につき 200円	
	40mm	"	6,510円		
	50mm	"	11,160円		
	75mm	"	24,520円		
	100mm	"	39,910円		
	150mm	"	86,330円		
200mm	"	121,930円			
浴場業用		"	各口径料金	1 m <sup>3</sup> につき	77円

## 平成12年7月～適用

区 分		基本料金		従 量 料 金	
		水 量	金 額	第 1 段	第 2 段
一 般 用	13mm	10m <sup>3</sup> まで	1,280円	11m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> 1 m <sup>3</sup> につき191円	20m <sup>3</sup> を超える分 1 m <sup>3</sup> につき 221円
	20mm	"	2,040円		
	25mm	水量なし	2,350円		
	30mm	"	3,220円	1 m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> 1 m <sup>3</sup> につき 191円	
	40mm	"	6,210円		
	50mm	"	10,650円		
	75mm	"	23,410円		
	100mm	"	38,110円		
	150mm	"	82,450円		
200mm	"	116,450円			
浴場業用		"	各口径料金	1 m <sup>3</sup> につき	74円

## 平成18年7月～適用（現行料金）

区 分		基本料金	従 量 料 金	
		金 額	水 量	金 額
一 般 用	13mm	900円	1 m <sup>3</sup> ～10m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 38円
	20mm	1,660円	11m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup>	1 m <sup>3</sup> につき 191円
			20m <sup>3</sup> を超える分	1 m <sup>3</sup> につき 221円
	25mm	2,350円	1 m <sup>3</sup> ～20m <sup>3</sup> 20m <sup>3</sup> を超える分	1 m <sup>3</sup> につき 191円 1 m <sup>3</sup> につき 221円
	30mm	3,220円		
	40mm	6,210円		
	50mm	10,650円		
	75mm	23,410円		
	100mm	38,110円		
150mm	82,450円			
200mm	116,450円			
浴場業用		各口径料金	1 m <sup>3</sup> につき	74円

# 上下水道事業の概要

## I 上水道事業の概要

### 1. 基本計画

#### 上水道

事業名	認可年月日	工期	事業費 (千円)	計画給水 人口(人)	計画一日最大 給水量(m <sup>3</sup> )	備考
創設事業	大7.3.15	大7.10～大12.5 (創設事業)	1,060	70,000	5,844	現住人口4万人目標で完成
第1回変更	大12.11			〃	〃	笹塚から導水
第2回変更	大15.3			〃	6,125	濾過池新設
第3回変更	昭5.5.14			〃	〃	配水管拡張
第4回変更	昭5.9.9			〃	〃	水源地拡張
第5回変更	昭13.7.29			〃	〃	配水管拡張
第一次拡張事業	昭26.6.25	昭28.2～昭34.3	104,104	101,000	25,250	人口及び使用水量の増加
第1回変更	昭31.7.4			〃	〃	不動沢ダムから取水
第2回変更	昭33.4.8			〃	〃	ろ過方法変更(急速ろ過池設置)
第二次拡張事業	昭38.12.28	昭39.1～昭46.3	1,724,102	133,000	50,800	人口及び使用水量の増加
第1回変更	昭39.12.28			〃	〃	蔵王ダムからの取水
第2回変更	昭41.2.24			〃	〃	滝山地区へ給水
第3回変更	昭43.3.30			136,000	51,880	東沢地区へ給水、区画整理の拡充
第三次拡張事業	昭44.3.31	昭44.4～昭52.3	6,752,399	217,000	112,000	各簡易水道統合、最上川から取水
第1回変更	昭49.3.30			235,000	114,000	高瀬地区へ給水、南部広域簡水の統合
第四次拡張事業	昭55.6.25	昭55.7～平成.3	9,813,247	261,000	137,900	県水の受水、管網の整備
第1回変更	昭62.3.2			〃	〃	新山地区へ給水
浄水方法変更	平7.10.5	平7.10～平15.3	22,760,500	261,000	137,900	見崎浄水場に高度浄水施設建設
浄水方法変更	平11.3.30	平11.3～平18.3	19,552,414	261,000	137,900	松原浄水場新築整備
簡易水道事業統合	平23.4.1			264,930	142,085	蔵王温泉・山寺・蔵王堀田簡易水道統合
給水区域の拡張及び一部廃止	平24.3.29			264,930	142,085	行政界変更に伴う給水区域の拡張及び一部廃止

### 2. 旧簡易水道(平成23年3月31日廃止)

#### 《蔵王温泉簡易水道》

事業名	認可年月日	工期	事業費 (千円)	計画給水 人口(人)	計画一日最大 給水量(m <sup>3</sup> )	備考
創設事業	昭31.2.7	昭31	9,176	常住者 800 宿泊者 2,800	720	
第一次拡張事業	昭38.3.14	昭37～昭39	15,000	常住者 900 宿泊者 6,500	1,200	観光客の増加
第二次拡張事業	昭49.6.28	昭49～昭50	430,333	常住者 1,400 宿泊者 11,200	3,500	常住者及び観光客の増加
取水地点変更	平7.3.30	平6		〃	〃	井戸新設

備考：第一次拡張事業の計画一日最大給水量の算出……(900人×200ℓ+6,500人×140ℓ)×1.1≒1,200m<sup>3</sup>

備考：第二次拡張事業の計画一日最大給水量の算出……上記のほか日帰り客254m<sup>3</sup>、学校14m<sup>3</sup>、病院12m<sup>3</sup>を加算

## 《山寺簡易水道》

事業名	認可年月日	工期	事業費 (千円)	計画給水 人口(人)	計画一日最大 給水量(m <sup>3</sup> )	備考
創設事業	昭46.5.6	昭46～昭49	192,652	常住者 800 宿泊者 2,800	635	
取水地点変更	平7.5.26	平6		〃	〃	井戸新設

備考：創設事業の計画一日最大給水量の算出……2,400人×150ℓ+20,000人×10ℓ=560m<sup>3</sup> 上記のほか旅館55m<sup>3</sup>、学校20m<sup>3</sup>を加算

## 《蔵王堀田簡易水道》

事業名	認可年月日	工期	事業費 (千円)	計画給水 人口(人)	計画一日最大 給水量(m <sup>3</sup> )	備考
創設事業	昭59.3.30	昭59～昭60	100,300	200	635	
浄水方法変更	平13.9.4	平14.1～平14.3	36,225	130	50	

備考：昭和60年12月1日から給水開始

## 3. 取水計画（令和2年度）

水系	項目	水源	水源種別	計画取水量 (m <sup>3</sup> /日)	取水地点所在地
見崎系		最上川	表流水	60,000	東村山郡中山町大字長崎
松原系	蔵王ダム 馬見ヶ崎川	馬見ヶ崎川	貯留水	30,000	上宝沢字葉の木沢 小白川町五丁目（松原浄水場内）
			伏流水	7,700 (6439)	
	又治窯沢川 深井戸	深井戸	表流水	6,000 (8200)	上宝沢字王地内
			地下水	2,000 939 (0)	蔵王上野
県水系		村山広域水道から受水	浄水	26,661	松原字山の神（南山形配水場）
蔵王温泉水系	カリージャ川 一度川 深井戸（3井）等		表流水	950	蔵王温泉地内
			表流水	250	
			地下水等	2,300	
山寺水系	仙山トンネル （面白山トンネル） 深井戸		湧水	600 (850)	JR仙山線 仙山トンネル
			地下水等	100	
蔵王堀田水系		蔵王山系山ノ神堰	湧水	56	蔵王温泉字川名池
計				137,556 (137,806)	

※上段数字は認可値、（ ）内数字は届出値

## II 下水道事業の概要

### 1. 事業計画

#### (1) 公共下水道事業

##### ① 事業計画概要（污水）

	単独公共下水道		流域関連 公共下水道	特定環境保全 公共下水道	計
	浄化センター処理区				
全体計画面積 (ha)	1,147		4,789		5,936
事業計画面積 (ha)	1,147		4,073	752	5,936
計画人口 (人)	61,800		155,050	24,750	241,600
処理能力 (m <sup>3</sup> /日)	晴天日最大	39,000	—	—	39,000
事業期間	S 36～R 7		S 62～R 7	H 2～R 7	
事業認可年月日	当初 S 36.12.1 最終 R 3.3.19		当初 S 63.3.30 最終 R 5.3.28	当初 H 3.1.29 最終 R 5.3.28	

##### ② 事業計画概要（雨水）

	公共下水道	特定環境保全 公共下水道	計
全体計画面積 (ha)	5,936		5,936(～R 12)
事業計画面積 (ha)	4,585	522	5,107(～R 7)
事業期間	S 45～R 7	H 2～R 7	
事業認可年月日	当初 S 45.12.14 最終 R 5.3.28	当初 H 3.1.29 最終 R 5.3.28	

##### ③ 事業認可の経過

(昭和36年～令和4年)

		認可年月日	主な地域	面積 (ha)	備考
第一期事業区域		S 36.12.1	市街地中心部、七日町、山形駅前など	255	事業計画告示 山形市告示第28号 (S 36.6.26)
第二期事業区域		S 45.12.14	緑町、小白川町、東原町、城南町など	475(730)	雨水208ha併せて認可
		S 48.11.29			雨水551haを拡張 (759ha)
第三期事業区域		S 51.1.23	宮町、銅町、北町、城西町、あかねヶ丘など	336(1,066)	雨水338haを拡張 (1,096ha)
流通センター処理区		S 52.8.10	流通センター	67(1,133)	
第四区事業区域		S 58.7.1	桧町、北町、江俣、江南、西田、下条町など	333(1,466)	雨水370haを拡張し、汚水と同じ区域にする(1,466ha)
第五期事業区域	単独公共	S 63.3.25	久保田、あかねヶ丘、城西町、西田、江南などの一部を除外	△319 (1,147)	流域関連公共下水道事業に一部振替
	流域関連公共	S 63.3.30	上記の区域に松山、鉄砲町、籠田、陣場、江俣など	706(1,853)	最上川流域下水道 (山形処理区)

		認可年月日	主な地域	面積 (ha)	備考
特定環境保全公共下水道		H 3.1.29	中野目、灰塚、渋江、成安、中野、船町、内裏、山寺など	216(2,069)	最上川流域下水道 (山形処理区)
第六期 事業 区 域	単独公共	H 3.3.28	土樋など	65(2,134)	
	流域関連公共	H 3.4.22	南栄町、松山、東山形、妙見字、吉野宿、鈴川、千歳など	982(3,116)	
第七期 事業 区 域	流域関連公共	H 7.3.17	落合町、高原町、滑川、東青田、中桜田、柳原など	781(3,897)	
	特定環境保全 公共下水道	H 7.3.17	漆山、新関、千手堂、七浦、見崎など	261(4,158)	
	流通センター 処理区	H 7.9.25	流通センター	1 (4,159)	
第八期 事業 区 域	流域関連公共	H 10.6.30	山形ニュータウン事業、蔵王温泉、蔵王成沢など	619(4,778)	雨水570haを拡張 (4,729ha)
特定環境保全 公共下水道		H 11.10.25	山形県立中央病院・医療短期大学	33(4,811)	雨水 (4,762ha)
単独公共下水道		H 13.3.30	拡張区域なし	—	事業期間の延長
第九期 事業 区 域	流域関連公共	H 13.9.25	松原、谷柏、菅沢、門伝、飯塚西部及び立谷川工業団地	773(5,584)	雨水124haを拡張 (4,886ha)
	特定環境保全 公共下水道		大森、鮎洗、楡沢、反田、村木沢ほか	201(5,785)	雨水拡張なし (4,886ha)
流域関連公共		H 16.7.15	拡張区域なし	—	蔵王温泉水前処理設備の設置及びそれに伴う幹線位置の変更
単独公共下水道		H 16.12.10	拡張区域なし	—	浄化センターの敷地を5.78haから7.74haに拡張
流域関連公共		H 17.10.31	小白川町、あこや町、あさひ町、東原町、南原町の一部、流通センター、西蔵王など	215(6,000)	雨水313haを拡張 (5,199ha)
特定環境保全 公共下水道			下反田、中野目など	21(6,021)	雨水拡張なし (5,199ha)
単独公共下水道		H 18.3.28	小白川町、あこや町、あさひ町、東原町、南原町の一部	△75(5,946)	流域関連下水道事業に一部振替雨水75ha削除 (5,124) 汚水、雨水とも内68haは流通センター処理区について、二重計上のため汚水5,946-68=5,878ha 雨水5,124-68=5,056ha
単独公共下水道		H 18.8.8	流通センター処理区を廃止し、最上川流域下水道(山形処理区)事業に編入拡張区域なし	△68(5,878)	雨水68ha削除 (5,056ha)
流域関連公共		H 23.3.23	土坂、神尾、蔵王温泉の一部を除外	△2(5,876)	雨水区域変更なし(5,056ha) ※一部排水区域の統合あり
特定環境保全 公共下水道			東古館、替所の一部を除外	△3(5,873)	雨水区域変更なし (5,056ha)
単独公共下水道		H 23.3.29	区域変更なし	—	事業期間の延長

	認可年月日	主な地域	面積 (ha)	備考
流域関連公共	H24.3.23	飯沢、百目鬼、防原（一部除外箇所あり）、岩波、釈迦堂の一部	3(5,876)	雨水3ha削除(5,053ha)
特定環境保全公共下水道		権沢、内裏の一部	14(5,890)	雨水区域変更なし(5,053ha)
単独公共下水道	H24.3.23	区域変更なし	—	雨水施設計画の変更に伴う幹線延長の追加、変更
流域関連公共	H28.3.25	南石関の一部を追加小白川町、あこや町、あさひ町、東原町、南原町、南館、長谷堂、蔵王温泉の一部を除外	△78(5,812)	雨水2ha削除(5,051ha) 流域関連公共下水道から単独公共下水道への一部振替に伴う幹線延長等の変更
特定環境保全公共下水道		中野の一部を除外		
単独公共下水道	H28.3.25	小白川町、あこや町、あさひ町、東原町、南原町の一部を追加	75(5,887)	
流域関連公共	R3.3.19	落合町、樋越、花桶、松原、沼木、大道端、などの一部を追加	25(5,912)	雨水35haを拡張(5,085ha)
特定環境保全公共下水道		漆山、千手堂、志戸田、大森などの一部を追加		
単独公共下水道	R3.3.19	樋越の一部を追加	2(5,914)	
流域関連公共	R5.3.28	寺西、千石などの一部を追加	22(5,936)	雨水22haを拡張(5,107ha)
特定環境保全公共下水道		拡張区域なし		

## (2) 最上川流域下水道（山形処理区）

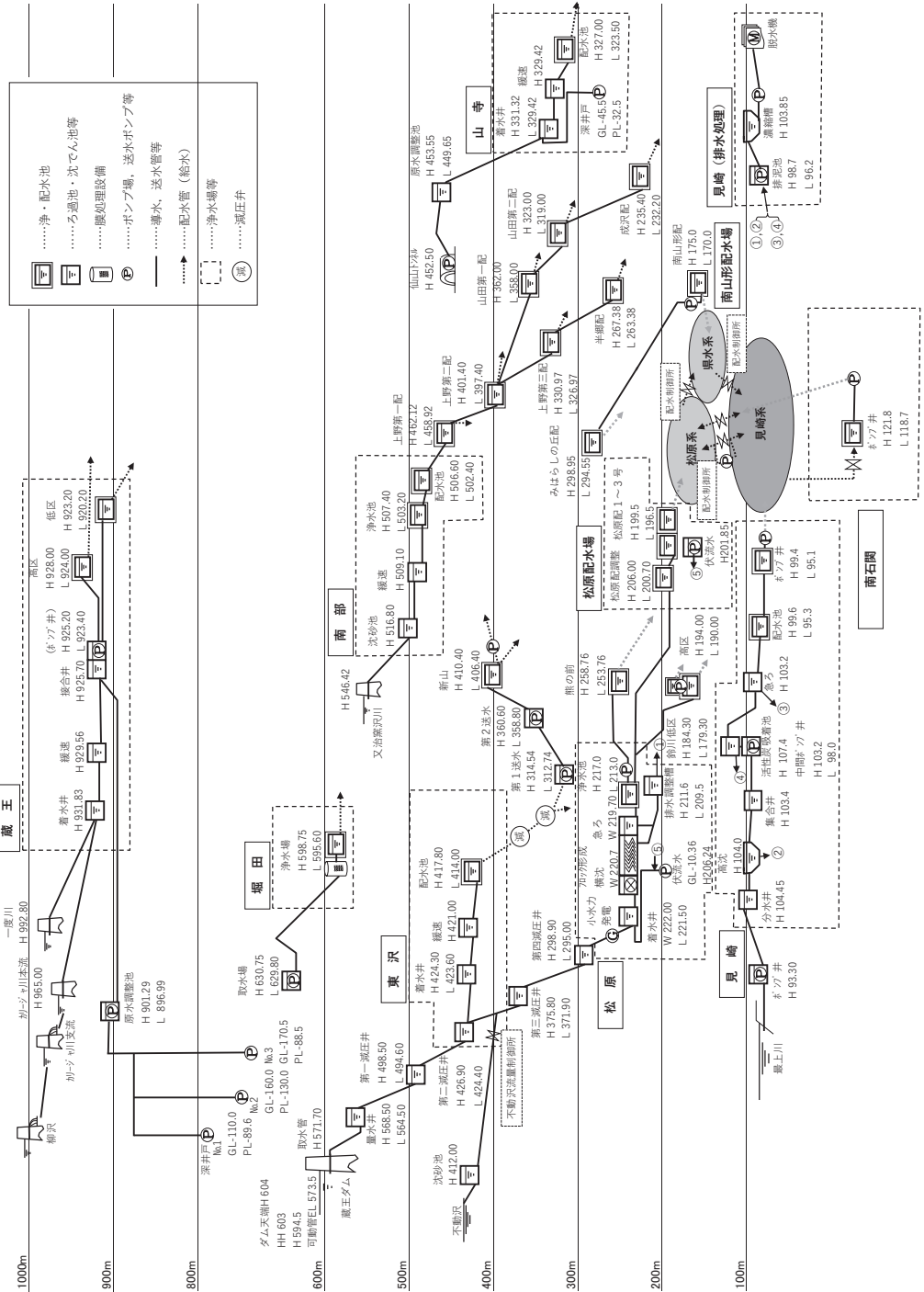
## ① 全体計画（目標年次は令和12年度）

	総計	山形市	天童市	山辺町	中山町	上山市
処理区域 (ha)	8,056	4,767	2,402	417	451	19
計画処理人口 (人)	254,800	175,000	58,720	11,510	9,290	280
処 理 場	処理能力：日最大 122,300m <sup>3</sup> /日（12池） 計画汚水量：日最大 116,629m <sup>3</sup> /日 敷地面積：257,300m <sup>2</sup>					

## ② 事業計画

	総計	山形市	天童市	山辺町	中山町	上山市
事業認可年月日	当初 昭和58年11月22日		最終変更 令和2年12月17日			
事業期間	昭和58年度～令和7年度					
処理区域 (ha)	7,617	4,767	2,086	391	363	10
計画処理人口 (人)	260,873	179,800	60,121	12,092	8,680	180
処 理 場	処理能力：日最大 122,300m <sup>3</sup> /日（12池） 計画汚水量：日最大 118,146m <sup>3</sup> /日 現有処理能力：日最大 91,100m <sup>3</sup> /日（10池）					

浄配水施設高低図



## 出典・参考資料

### 《記念史（誌）等》

- 「山形市水道五十年史」 山形市水道部（1976年）
- 「山形市水道七十年史」 山形市水道部（1995年）
- 「山形市下水道50年史」 山形市上下水道部（2016年）
- 「やまがた市制100周年 記念事業記録集」山形市（1990年）
- 「秋田市水道百年史」 秋田市上下水道局（2008年）
- 「盛岡市水道80年 温故知新」 盛岡市上下水道局（2015年）
- 「いわきの水道 100年誌」 いわき市水道局（2023年）
- 「仙台市水道100年のあゆみ」 仙台市水道局（2023年）

### 《事業基本計画》

- 「山形市ふれっしゅ水道整備事業基本計画」 山形市水道部（1993年）
- 「山形市第2次水道事業基本計画 21 STARTプラン」 山形市水道部（2002年）
- 「山形市第2次水道事業基本計画 21 STARTプラン 2ndステージ」（2007年）
- 「山形市上下水道事業基本計画」山形市上下水道部（2013年）
- 「山形市上下水道事業基本計画（後期計画）」山形市上下水道部（2018年）
- 「山形市上下水道事業基本計画 NEXTビジョン2023」山形市上下水道部（2023年）

### 《啓発資料》

- 「松原浄水場 小水力発電事業」山形市制125周年記念事業 山形市（2014年）
- 「水とわたしたち 山形市の水道と下水道（児童向け）」 山形市上下水道部（2016年）
- 「山形市の水道と下水道」 山形市上下水道部（2018年発行）
- 「馬見ヶ崎川と水道」山形市制施行130周年記念 山形市上下水道部（2019年）
- 「山形市の水道と下水道 Yamagata City Water and Sewerage」 山形市上下水道部（2023年「改訂版」発行）

### 《各種計画・プラン等》

- 「排水処理基本構想」 山形市（1989年）
- 「山形市下水道事業長期計画」 山形市（1993年）
- 「山形市水源かん養林経営計画書」 山形市水道部（1996年）
- 「山形市下水道事業長期計画書」山形市（2002年）
- 「山形市行財政改革プラン」 山形市（2005年）
- 「山形市水道経営改革プラン」 山形市水道部（2006年）
- 「山形市上下水道経営改革プラン」 山形市上下水道部（2010年）



- 「簡易水道事業統合計画」 山形市上下水道部（2011年）
- 「水道施設耐震化基本計画」 山形市上下水道部（2011年）
- 「山形市発展計画」 山形市（2015年）
- 「山形市上下水道事業経営改革重点プラン」 山形市上下水道部（2015年）
- 「山形市上下水道部要員計画」 山形市上下水道部（2015年）
- 「山形市上下水道部二次要員計画」 山形市上下水道部（2017年）
- 「山形市上下水道部人材育成・技術継承基本方針」 山形市上下水道部（2019年）
- 「山形市発展計画2025」 山形市（2020年）
- 「第一次上下水道部経営改革推進プラン」 山形市上下水道部（2020年）
- その他

《写真資料・その他》

- 「山形新聞 大正12年5月4日版」 山形新聞社
- 「耐震管写真」 日本ダクタイル鉄管協会提供
- 「山形市航空写真」 山形市総務部広報課提供
- 「山形五堰 御殿堰写真」 山形市農林部農村整備課提供
- 「事業年報」（各年度） 山形市上下水道部
- 「広報・広聴マン(部内発行紙)」 山形市上下水道部
- 「図説 日本史通覧」 帝国書院発行
- 「国立国会図書館所蔵『写真の中の明治・大正』初代県庁写真」
- 「山形市 記念絵葉書写真」
  - 山形市水道浄水場
  - 旧山形市役所（再建）
  - 旧山形県庁（再建）
  - 山形市水分神社
  - 山形市水道水源地
  - 旧山形県庁前大通り
- 「山形市水道配管図」（大正11年） 山形市上下水道部
- 「はながたべニちゃん 山形市水道通水100周年バージョン」 山形市上下水道部